

**3M<sup>TM</sup> ウレタンボデーシーラーチューブ 8542**

## 安全データシート

Copyright, 2016, 3M Company  
All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	08-6167-4	版	13.00
発行日	2016/07/18	前発行日	2016/07/11

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

## 1. 化学品及び会社情報

### 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> ウレタンボデーシーラーチューブ 8542

### 3M スtockナンバー

JS-3000-4244-2

### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

急性毒性（吸入）： 区分4

生殖毒性： 区分1

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分1

水生環境有害性（急性）： 区分3

### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

### シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H332	吸入すると、有害。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
H351	発がんのおそれの疑い。
H370	臓器の障害。 感覚器。
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害。 神経系。
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 感覚器。
H402	水生生物に有害。

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P284	呼吸用保護具を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。

応急措置

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
-------------	-----------------------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ウレタンポリマー	営業秘密	15 - 40
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	10 - 30
フィラー、ピグメント	営業秘密	10 - 30
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	3 - 7
二酸化チタン	13463-67-7	3 - 7

可塑剤	営業秘密	1 - 5
添加物、触媒	なし	0.5 - 1.5
溶剤	なし	0.5 - 1.5
エチルベンゼン	100-41-4	8
キシレン	1330-20-7	12

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
刺激性蒸気あるいはガス  
窒素酸化物

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

特別な防御措置は不要：消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気での場所を換気する。

物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 容器を密封する。  
回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は専門家用に使用を限定する。 密閉された、換気の良くない場所で使用しないこと。

安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 指定された個人保護具を使用する。

### 保管

換気の良い場所で保管すること。

水や空気との接触による不純物を避けるため、容器はしっかりと密閉を保つ。 もし、不純物が疑われるときは、容器は再密閉しない。 アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV (8時間) : 20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA (8時間) : 217 mg/m <sup>3</sup> (50 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA : 20 ppm	A3: 動物発がん性物質
キシレン	1330-20-7	ISHL	TLV (8時間) : 50 ppm	
キシレン	1330-20-7	ACGIH	TWA : 100 ppm、STEL : 150 ppm	A4: ヒト発がん性物質として分類できない
キシレン	1330-20-7	JSOH OELs	TWA (8時間) : 217 mg/m <sup>3</sup> (50 ppm)	

二酸化チタン	13463-67-7	ACGIH	TWA : 10 mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (呼吸性ダストとして) (8時間) : 1mg/m <sup>3</sup> 、TWA (総ダストとして) (8時間) : 4mg/m <sup>3</sup>	
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(8時間) : 0.3 mg/m <sup>3</sup>	
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	ACGIH	TWA (呼吸性分画) : 1mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた目・顔の保護具を選択・使用する。下記の日・顔の保護具を推奨します。  
サイドシールド付安全メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。  
注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。  
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、暴露の可能性が高い場合にはつなぎ服などの保護衣を使用する。  
ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。  
ポリマーラミネート製エプロン

#### 呼吸用保護具

ばく露状況の評価し、必要と判断される場合には吸入防止装置の一部として、以下の呼吸保護具の中から選択する。  
有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形送気マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理・化学的性質

## 外観

## 物理的状態:

形状、色、臭い

臭いの閾値

pH

融点・凝固点

沸点, 初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度

引火性 (固体、ガス)

燃焼点 (下限)

燃焼点 (上限)

蒸気圧

蒸気密度

密度

比重

溶解度

溶解度 (水以外)

溶解度 (水以外)

n-オクタノール/水分配係数

発火点

分解温度

粘度

揮発性有機化合物

揮発分

水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)

## 固体

ペースト

溶剤臭、白

データはない。

データはない。

データはない。

データはない。

適用しない。

データはない。

区分されない。

データはない。

データはない。

データはない。

データはない。

1.19 g/ml [試験条件: 20 °C]

1.19 [参照基準: 水=1]

なし。

データはない。

データはない。

データはない。

≥ 300 °C

データはない。

150,000 - 250,000 mPa-s

データはない。

17 - 21 %

データはない。

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

## 化学的安定性

安定。

## 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

## 避けるべき条件

火花ないし炎

## 混触危険物質

アミン類

アルコール類

水

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。

また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：症状/兆候には局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含む。

アレルギー性皮膚反応（光反応以外）を起こす可能性がある（症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある）。

吸入した場合

吸入すると有害 気道刺激：症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。

アレルギー性呼吸反応：呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感を含む。

以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

飲み込んだ場合

胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある）。

以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

聴覚への影響：症状としては、聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りを含むことがある。

中枢神経の抑制：徴候・症状は頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失を含む。

長時間又は反復暴露した場合：

聴覚への影響：症状としては、聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りを含むことがある。

神経への影響：症状は性格の変化、共調欠除、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧及び心拍数の変化を含むことがある。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害を引き起こす可能性のある化学物質または化学物質の混合物を含有する。

#### 発がん性

発がん性のある化学物質を単体あるいは混合物として含むことがある。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合になります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入-蒸気(4時間)		データ無し: 計算された急性毒性推定値10 - 20 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い: ATEで計算。5,000 mg/kg
フタル酸ジイソデシル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
フタル酸ジイソデシル	吸入-粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 12.5 mg/l
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	ラット	LD50 > 9,700 mg/kg
キシレン	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン	吸入-蒸気(4時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入-蒸気(4時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg
ポリ塩化ビニル	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリ塩化ビニル	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
二酸化チタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
二酸化チタン	吸入-粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
二酸化チタン	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	ウサギ	わずかな刺激
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激
ポリ塩化ビニル	専門家による判断	刺激性なし
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし

#### 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	ウサギ	軽度の刺激
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし



## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	モルモット	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	ヒト	感作性なし
二酸化チタン	ヒト及び動物	感作性なし

## 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	In vitro	変異原性なし
フタル酸ジイソデシル	In vivo	変異原性なし
キシレン	In vitro	変異原性なし
キシレン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリ塩化ビニル	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vivo	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化チタン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	吸入した場合	ラット	発がん性

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	雌性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 927 mg/kg/day	2世代
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	雄性生殖毒性なし	ラット	NOAEL 929 mg/kg/day	2世代
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 38 mg/kg/day	2世代
キシレン	吸入した場合	雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

キシレン	経口摂取	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 非該当	器官発生期
キシレン	吸入した場合	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	妊娠期間中
エチルベンゼン	吸入した場合	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	発生毒性なし	マウス	NOAEL 非該当	妊娠期間中

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	経口摂取	マウス	授乳による影響はない。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
キシレン	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	非該当
キシレン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	全て陰性	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	内分泌系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 686 mg/kg/day	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	肝臓   腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	心臓	全て陰性	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	造血器系	全て陰性	イヌ	NOAEL 320 mg/kg/day	90 日

キシレン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.4 mg/l	4 週
キシレン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	心臓   内分泌系   造血器系   筋肉   腎臓および膀胱   呼吸器系	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	経口摂取	聴覚系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	2 週
キシレン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日
キシレン	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	心臓   皮膚   内分泌系   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   神経系   呼吸器系	全て陰性	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	5 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪   筋肉	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	心臓   免疫システム   呼吸器系	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓   腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/day	6 月
ポリ塩化ビニル	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 0.013 mg/l	22 月
二酸化チタン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
二酸化チタン	吸入した場合	肺線維症	全て陰性	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
キシレン	吸入有害性
エチルベンゼン	吸入有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡

ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。

セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

#### 水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	1.81 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l
ポリ塩化ビニル	9002-86-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	シーブスヘッドミノウ	実験	96 時間	LC50	>240 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	魚	実験	30 日	有効濃度は観察されない。	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	30 日	有効濃度は観察されない。	3 mg/l
キシレン	1330-20-7		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

			不足している。			
--	--	--	---------	--	--	--

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	推定値 光分解		光分解半減期 (空气中)	1.23 日 (t 1/2)	別法
エチルベンゼン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	4.26 日 (t 1/2)	別法
キシレン	1330-20-7	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
二酸化チタン	13463-67-7	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素 要求量	67 重量%	OECD 301C-MITI(1)
エチルベンゼン	100-41-4	実験室 生分解性	14 日	生物学的酸素 要求量	81 重量%	別法

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
キシレン	1330-20-7	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

3M<sup>®</sup> ウレタンボデーシーラーチューブ 8542

フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	実験 BCF-Carp	56 日	生物濃縮係数	<14.4	OECD 305E- 生態濃縮魚類
二酸化チタン	13463-67-7	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	9.6	別法
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF-その他		生物濃縮係数	15	別法

土壤中の移動性  
データはない。

オゾン層への有害性  
データはない。

### 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1133 接着剤

輸送分類 (IMO)： 3 引火性液体類

輸送分類 (IATA)： 3 引火性液体類

容器等級： III

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は2016年6月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

**主な法規制物質**

成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
エチルベンゼン	70 (エチルベンゼン)	第1種53 (エチルベンゼン)	該当なし。
二酸化チタン	191 (二酸化チタン)	該当なし。	該当なし。
キシレン	136 (キシレン)	第1種80 (キシレン)	該当なし。

**日本国内法規制 (主な適用法令)**

- 労働安全衛生法： 施行令別表第6の2 有機溶剤
- 労働安全衛生法： 施行令18条有害物質 (表示物質)
- 船舶安全法： 可燃性物質類
- 労働安全衛生法： 施行令別表第三第二項 特化則第二類物質
- 消防法第2類可燃性固体

労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物  
P R T R法：第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション1：製品名 情報修正.  
セクション8：作業環境許容値 情報修正.  
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。